

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス にじいろ				公表日	令和8年 3月 13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			指定基準を満たしています。限られたスペースを有効活用できるように工夫します。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			高崎市の定める指定基準を遵守して、サービスの提供を継続します。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			個々の障害特性に配慮し、写真や絵カード等を使用しわかりやすく情報の伝達を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			毎日の清掃を継続すると共に、5S活動を強化し利用者の方々が安心して利用できるように配慮します。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			落ちついた環境が必要な方には個室での対応を行います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎年、実施しています。	支援員間での情報共有を図り、業務改善に努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年度末に保護者との面談を実施し、意向の聞き取りを行い支援に取り入れています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		管理者と職員による面談を年に2回行い、職員の意見を聴く機会を設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		現在受ける予定はありませんが、業務改善のために今後受ける必要があると考えています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		参加できる研修には参加しています。施設内研修の実施や外部の研修に参加した職員による伝達研修を行い職員間で共有しています。	法人で行われる研修や施設内研修を実施し、全職員が参加できるように予定を組み資質向上に努めます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		全支援員で相談して作成し法人のホームページで公表しています。	職員間でアイデアを出し合い、利用者の方々の成長に即した新しいプログラムの立案を行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		日々のアセスメントや高学年の利用者からはご本人の希望を聴くようにしています。	ご本人、保護者の要望を反映した計画の立案を行います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		策定会議を設定し、職員間で話し合い立案しています。	今後も全職員間で話し合い、利用者にとって最善の利益を考慮した計画の作成を行います。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		年度初めに職員間で周知しています。	引継ぎファイルにて常に確認し意識して支援にあたれるように工夫しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			標準化されたアセスメントを使用し確認できるようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		支援プログラムや個別支援計画の中に設定しそれをもとに実施しています。	設定された支援を実施するよう努めます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		全支援員で相談して立案しています。	職員間でアイデアを出し合い、新しいプログラムの立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		年間計画を作成し、計画に基づいて行っています。	成長過程に沿って必要な活動プログラムを作成し固定化しないように工夫していきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			利用者の特性や状況に合わせ、個別活動や集団活動を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		午前中、前日の振り返りと当日の支援の確認を行っています。	毎日打ち合わせを行い、職員間で支援内容や役割分担の確認を行います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後に十分な時間が取れないため、翌日の活動支援前に打合せを行っています。	職員間で日々の支援の振り返りを行い、統一した支援を行えるようにします。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		適切な記録を心がけ、支援の改善につなげている。	適切な記録を取り、支援の検証・改善に繋げられるようにします。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的実施し、見直しをしています。	定期的なモニタリングを実施し、見直しを継続していきます。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		基本活動を意識したスケジュールを立てています。	4つの基本活動を複数合わせた支援を継続していきます。地域交流の場を増やせるようにします。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		特性に配慮しわかりやすい方法で情報を提供し自己決定できるよう支援しています。	自己決定できるような支援方法を提供します。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参加しています。	児童発達支援管理責任者が参加できない場合は、他の支援員が参加し利用者の状況の説明を行います。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5		関係機関との連携を図れるような体制づくりを整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		情報共有、連絡調整については適切に行うよう心掛けています。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		必要に応じて情報共有を行っています。	新一年生の受け入れの際は、関連機関との情報共有を行います。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		情報提供を行っています。	次の事業所へスムーズに移行できるよう支援内容等の情報を提供していきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	機会があれば参加しています。	研修の機会が少なくなっていますが、積極的に参加できるようにしていきます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	地域で開催された子ども食堂に参加し、地域の子供と触れ合う機会を設けました。	長期休暇では、公園等に外出し近所の子供たちと交流できる機会を設けていきます。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			6		現在は、参加の機会がありませんが、参加の機会があれば参加させていただきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳の利用や送迎時に活動中の様子をお伝えしています。	保護者との情報交換を行い、支援に活かしていきます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	参加できる研修がある際は情報の提供を行っています。	必要に応じて情報提供を行っていきます。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		丁寧な説明を行っています。		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者との面談や日々の送迎の際に意向確認を行いサービスの提供を行っています。		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		保護者との面談を行い「放課後等デイサービス計画」の内容を説明し同意及びサインをいただいています。	今後も「放課後等デイサービス計画」を示しながら丁寧な説明を行い同意をいただきます。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			保護者から相談がある際は、必要な助言と支援を行っていきます。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	新型コロナウイルス対策から行えない状況が続いています。	保護者との「おはなし会」等、保護者同士の連携が図れるような機会を検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		法人内で定めている規則に則り迅速な対応を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		SNSの活用を積極的に行っています。	HPやInstagramにおいて活動の様子を掲載しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報は慎重に取り扱っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		個々に合った配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		地域の団体が行うマルシェやワークショップをセンター内で開催し地域の方々との交流を図っています。	今後もイベントを継続し地域住民との交流を図っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		安全計画書を保護者に配布し周知しています。	安全計画に基づき訓練の実施を行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に研修及び訓練を行っています。	定期的に研修や訓練を行い、非常災害の発生に備えます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		保護者と健康面について確認を行っています。	服薬変更があった際は処方箋のコピーをいただき職員間で共有しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	5	アレルギーの方に関してはおやつは持参していただいています。	保護者との情報共有を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に基づいて、避難訓練、防犯訓練、所在不明訓練棟を実施しています。	安全計画に基づき安全管理を行った上で実施していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			取り組んだ内容については保護者に周知するように努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事故報告やヒヤリハットについての対応策を職員間で共有しています。	事故やヒヤリハット報告が発生した場合は事故の検証を行い、職員間で共有し事故防止に努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人や施設内研修を行い虐待防止に努めています。	外部研修や法人・事業所内で研修を企画し、全職員が研修の機会を確保できるようにします。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		保護帽、補装具、車椅子ベルトの使用について、毎月の会議にて検討しています。	保護帽、補装具、車椅子ベルトの使用については職員の見守りのもと外す時間を作り、リラックスできるように配慮します。	